

2023年度事業報告書

I 概況

1. 来館者

2023年度は、3月に侍ジャパンのワールド・ベースボール・クラシック(WBC)優勝の熱気が続いたこともあり、野球界はプロ、アマを問わず盛況な1年でした。野球の魅力を改めて認識いたしました。

さて、当館の活動ですが、WBC優勝トロフィーを中心にWBC関連の展示を展開、NPBとのコラボレーション企画「野球の学校2023」ではNPB野球規則委員の友寄正人さん、NPB公式記録員の山本勉さんらのトークイベント、小学生向けの「野球で自由研究！」でもイベント各種を開催し、野球の普及・振興に努めました。

WBC優勝により関連展示への注目が爆発的に高まったことに加え、外国人来館者も増えてきており、来館者数は当館設立以来2番目となる189,653人となりました。

2. 維持会員

維持会員は、法人65社(前年比1社増)、個人184名(前年比17名増)、ジュニア7名(前年比3名増)となりました。維持会員制度の刷新が奏功したと考えております。引き続き加入を促進し、ファン拡大に努めて参ります。

3. 野球殿堂

競技者表彰のアレックス・ラミレス氏、ランディ・バース氏、特別表彰の故・古閑裕而氏の表彰式は、7月19日バンテリンドーム・ナゴヤで開催されたプロ野球オールスターゲーム第1戦の試合開始前に行いました。

2024年の殿堂入りですが、第64回競技者表彰委員会から谷繁元信氏、黒田博樹氏、第63回特別表彰委員会から故・谷村友一氏が選出されました。

これにより、殿堂入り顕彰者は、競技者表彰105名、特別表彰113名で合計218名となりました。

4. 普及・広報活動

当館の認知度を高める施策として、前侍ジャパン監督栗山英樹さんご出演の当館紹介映像を制作し、プロ野球、アマチュア野球の球場で放映していただきました。

また、野球振興につながる事案、当館を紹介する記事、番組の取材や撮影に積極的に協力して広報に努めました。全国野球振興会(プロ野球OBクラブ)主催の全国少年野球教室にも、当館のパンフレットを9,000部提供するなど、開催に協力いたしました。

5. 館外活動

球界関係、地方公共団体や類縁機関などが主催の展覧会やイベントに際し、資料の貸出に加え、企画の相談にも対応するなど積極的に協力し、野球振興に努めました。千葉ロッテ、埼玉西武、北海道日本ハム、プロ野球ドラフト会議等合計22件の貸出を行いました。

6. 資料収集

博物館の基礎ともなる展示資料及び図書の収集を積極的に行いました。ご協力いただいた皆様には深く感謝いたします。

①収集資料：1,298点(前年471点)

②収集図書：1,985冊(前年2,414冊)

尚、資料収集に際しては、将来に何を残すかを組織的かつ円滑に行うために、「収集資料検討委員会」(原則、毎月1回開催)において協議し決定しております。

7. その他

- ・老朽化対策として、空冷式チラー1台の入替え、館内照明一部のLED化、受付前の柱巻きリニューアル、物販用自動販売機2台の入替えなどを行いました。
- ・夏期はWBC関連の展示開催で混雑が予想されたため、シミズオクトに列整理を発注したことに加え、当館で初めての試みとしてローソンチケット(時間指定前売り券)を導入し、お客様サービスの向上と混雑の緩和に努めました。
- ・野球伝来150年を機に、野球界の方々にご協力をいただき、初めて年報を発行いたしました。

以上